別記1　様式

実質化された人・農地プラン

市町村	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
嬬恋村	その他 地区	令和3年3月30日	令和6年3月15日

1　その他 地区の現状

①　地区内の耕地面積		826ha
②　アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計		417ha
③　地区内における60歳以上の農業者の耕作面積の合計		53ha
	ⅰうち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	19ha
	ⅱうち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	18ha
④　地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計		65ha
【備　考】 中心経営体（認定農業者等）		42農家

2　その他 地区の課題

①区民の人口は少子高齢化の影響で減少し年々遊休農地は増えている。
②崖縁や山間などにある狭小な昔ながらの農地は、使いかっても悪く今後の利用は見込めない。また、山腹に分散しているため鳥獣被害（さる等）がひどく耕作意欲を削がれ離農してしまう。崖崩れも年々広がっている。
③水稲作後継者の減少。
④浅間開拓及び仙之入地区等の農作業道及び農業用排水路施設等の維持管理。

3　その他 地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

①条件の良好な農地の確保。
②しばらくは現状維持。集積が進めば補助事業の活用。
③しばらくは現状維持。上信自動車道整備と併せて区画整理の推進を図る。
④農地中間管理機構を活用し中心経営体へ集積・集約する。

4　3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

①近隣の大規模農家との協力体制及び、行政、農業委員会との補助事業等の情報の収集。
②各直売所への出品（米・キャベツ・じゃがいも・とうもろこし・花豆・エゴマ等）。有害鳥獣対策協議会と連絡調整。
③嬬恋産ブランド米等の承継の推進。
④農地利用について農業委員・推進委員等と情報の共有を図る。